

伝えよう、「和食」文化を。

日本食文化の魅力シンポジウム

写真提供：京料理 木乃婦

本シンポジウムは、
平成25年12月4日にユネスコ無形文化遺産登録された、
「和食；日本人の伝統的な食文化」を
次の世代に維持・継承していくことの大切さについて
考えることを目的として、全国各地にて開催いたします。



第二回 秋田県

定員 200名(事前申込制) ※先着順

日時 10月23日(木) 開場13:00 開演13:30~17:00

会場 秋田大学(秋田県秋田市)

※第三回 東京都も開催を予定しております。

第二回：秋田県『地域で伝える、和食』

伝統的な日本の食文化が、地域の町づくりの一環として保護・継承されていくことの可能性と、
地域で教え伝えていくことの重要性について考えます。

挨拶 農林水産省

基調講演 『『和食』の無形文化遺産登録を受けて～食文化を次世代へ伝えるということ』 静岡文化芸術大学学長、「和食」文化の保護・継承 国民会議 会長 熊倉 功夫氏

事例発表 「秋田の食文化を伝えるレストランイベントの取組み」 野菜ソムリエコミュニティあきた 代表 佐藤 司氏

「食と文化を次代に伝える、高校生による食の甲子園®とそこから生まれた物語」 おいしい山形の食と文化を考える会 事務局長代理 黒沼 貞志氏

「もち食文化を生かした、一関市の取組」 一関もち食推進会議 会長 佐藤 暁信氏

「秋田県における郷土食継承について」 秋田大学 教育文化学部教育実践講座 准教授 佐々木 信子氏

パネルディスカッション「地域で伝える、和食」

コーディネーター：熊倉 功夫氏

パネリスト：佐藤 司氏、佐藤暁信氏、佐々木 信子氏、
おいしい山形の食と文化を考える会 副会長 古山 裕喜氏

※発表内容は変更となる場合があります。ご了承ください。

応募方法 募集人数 200名 締切 10月14日(火)24時まで ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

FAX 03-5226-9929

HP <http://www.yomiuri-ag.co.jp/symposium/>

※先着200名様には、順次招待状を記載いただいたFAXまたはメールアドレスにお送りします。当日必ずお持ちください。

※お預かりした個人情報は、本シンポジウムのために利用させていただきます。

※万一お申し込み登録完了後も受付確認のご連絡が届かない、招待状を紛失した等ありましたら事務局までお問い合わせください。

参加申込方法について

お申し込みは、本申込書に必要事項をご記入の上、下記FAX番号に送信いただくか、
申し込みフォーム「<http://www.yomiuri-ag.co.jp/symposium>」より、申し込みください。
受付は先着順で行い、定員200名になり次第、締め切らせていただきますので予めご了承ください。

希望参加会場	第二回 秋田県		
氏名		ふりがな	
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	年齢	
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> NPO/NGO <input type="checkbox"/> マスコミ <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 大学等の研究機関 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他		
勤務先			
住所			
電話		FAX	
メールアドレス			

アンケートにご協力をお願いします。

Q1	「和食」文化をユネスコ無形文化遺産に登録申請している政府の取り組みについて知っていましたか <input type="checkbox"/> 知っていた <input type="checkbox"/> 聞いたことはあったがよく知らなかった <input type="checkbox"/> 全く知らなかった
Q2	自国の食文化である「和食」文化の保護・継承について日頃から意識していますか <input type="checkbox"/> 非常に意識している <input type="checkbox"/> どちらかといえば意識している <input type="checkbox"/> あまり意識していない <input type="checkbox"/> 全く意識していない
Q3	自分の地元の郷土料理や伝承料理の保護・継承活動など、「和食」文化を支える活動について知っていますか <input type="checkbox"/> よく知っている <input type="checkbox"/> あまりよく知らないが聞いたことがある <input type="checkbox"/> 全く知らない
Q4	季節や伝統行事に合わせた料理や一汁三菜の食卓、うま味を引き出す調理法など「和食」文化の特徴について説明できますか <input type="checkbox"/> 説明できる <input type="checkbox"/> 説明はできないが、何となく知っている <input type="checkbox"/> 全く知らず説明できない
Q5	季節や伝統行事に合わせた料理や一汁三菜の食卓、うま味を引き出す調理法など日常生活で実践していますか <input type="checkbox"/> 日常的に実践している <input type="checkbox"/> 時々実践している <input type="checkbox"/> あまり実践していない <input type="checkbox"/> 全く実践していない
Q6	日本の食文化について見直し、「和食」文化の保護・継承について考える日、11月24日「和食の日」について知っていましたか <input type="checkbox"/> 知っていた <input type="checkbox"/> 聞いたことはあったがよく知らなかった <input type="checkbox"/> 全く知らなかった

- 【注意事項】・本イベントは事前申込み制となっており、事前申込みのないお客様は、当日ご入場いただくことができません。
観覧ご希望のお客様は、FAXもしくは申し込みフォームより事前の申込みをいただけます様、お願いします。
・先着200名で申込みを受付けます。招待状1通につき、1名様のみご観覧いただけます。
複数人でご参加希望の方は、お一人ずつ事前申込みをしていただけますようお願いいたします。
・本シンポジウムは、基調講演・パネルディスカッションと一連のプログラムになっており、一部プログラムのみの参加はご遠慮下さい。
・万一、お申し込み登録完了後も招待状が届かないようでしたら、シンポジウム事務局03-5226-9908（平日10時～17時）までご連絡下さい。

お申込み締切 平成26年10月14日(火)

FAX03-5226-9929